

case

農業土木

農林水産部
農村基盤整備課

(平成29年度採用)

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#農業

実家が農業をやっているので、休日は農作業の手伝いをして、自然を感じ、リフレッシュしています。

keyword 02

#自転車通勤

本庁勤務になってから自転車（マウンテンバイク）を購入し、休日にはサイクリングロードに行ったりしています。

keyword 03

#音楽鑑賞

keyword 04

#バドミントン

keyword 05

#自然



私は

人の力になること

が好き!

略歴

H29～R2 相双農林事務所 農村整備部 農村整備第一課
R3 ～現在 農林水産部 農村基盤整備課

地域の方々の声をかたちにする

相双農林事務所に勤務していた時には、ほ場整備の工事監督員業務を担当し、地元の方々、施工業者、市町村、土地改良区と話し合いを重ねながら、農家の理想に寄り添った基盤整備の工事を進めていました。

現在は、県庁の農村基盤整備課に勤務しており、県全体で行われている工事の予算確保とその後の執行状況の管理をする仕事をしています。

現場が完成し、営農をしている状況を見たときにやりがいを感じます。

県職員を目指した理由

大学で学んだことを仕事に生かしたいと考えたこと、また福島県の農業の現状及び今後の方向性について学びたいと思い、福島県職員の農業土木職を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30

メールチェック等

9:30

チーム内で課題等の共有

11:00

出先機関との地区工程打合せ

12:00

昼休み

13:00

関係部署との打合せ

15:00

国からの照会対応

16:00

チーム内で進捗について報告

17:15

終業

印象に残っている経験・エピソード

令和元年に発生した台風19号災害の対応が印象に残っています。当時は相双農林事務所に勤務していましたが、事務所一丸となって市町村のサポートを行いました。相双地方では、被災箇所が約400地区あり、復旧のイメージがつかないのですが、市町村、施工業者の協力があり、現在では、ほとんどの復旧工事が完了し、営農が再開しています。



↑台風災害後の調査の様子

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑担当した地域の整備後のほ場

農家の高齢化及び減少が進む中、ほ場整備や農業用施設の更新・補修を行うことで農作業の省力化を実現し、農家の所得向上が図られるよう、福島農業に貢献したいです。